

# 美しいけど怖い世界 克明に

画家 上野 洋嗣さん(35)＝熊本市

近況

自然の風景のようだが、どこか不穏な気配が漂う。おぼろげな画面の縁、赤紫色の地面、水色に染まる樹木…。「美しいけど怖い。そんな感覚を持ってもらえそうじゃない」。作家の意図通り、異世界に引き込まれたような錯覚になる。



神聖さや霊性を感じさせる油彩作品を手掛ける画家の上野洋嗣さん＝熊本市中央区

熊本市中央区九品寺のホテル「RESTERS BED&CO.」での個展で、10～100号の油彩4点を並べている。うねるように水が流れる巨大な渓谷、樹海から勢いよく落ちる滝…。写実的で克明な画面は美しさと近寄りたさが同居する。

同市出身。2008年に崇城大大学院芸術研究科修士課程を修了後、公募展への出品や個展・グループ展を重ねる。現在は同大芸術学部洋画コースの非常勤講師として、デッサンや油彩を指導しながら、現実を超越した神聖さや崇高さをテーマに制作を続ける。

5年ほど前までは川辺など身近な風景がモチーフだった。「シニールな感じがする」という友人

らの感想がきっかけで、「この世ではない世界」を表現することに力を注ぐようになった。以来、描くのは架空の風景。頭に浮かぶイメージに映画や写真から受けたインスピレーションを織り交ぜる。「リアル」を追求するため、発泡スチロールや樹脂などで50～60センチ四方の立体模型を製作し、それを基に平面に描き込む。

「力が及ばない領域、うかつに近づけない存在に神秘性を感じる。それは人が共通して持つ感覚だと思う」。模索しながら、その感覚を呼び起こす作品作りは続く。

（魚住有佳）

※上野さんの個展「Beyond」は来年1月26日まで。